

# 岡山でエコアクション21全国大会開幕

## 環境活動理解深める

分科会や講演  
審査人ら450人参加

環境省の環境活動評価プログラム「エコアクション21」の認証事業者の拡大を目指す全国交流研修大会（岡山商工会議所などで行く実行委主催）が、26日から2日間の日程で岡山市内で始まった。初日は環境活動をテーマにした分科会や講演などがあった。



岡山市内で始まったエコアクション21の全国交流研修大会

エコアクション21は

同省策定のガイドラインに沿い、節電や節水、ごみ減量化などに取り組む事業者を認証登録する制度。経費削減効果や社会的イメージの向上といったメリットが見込める。2004年度に始まり、登録数は企業や大学など7199件（11年度末）。

大会には申請者の活動評価に当たる全国の審査人ら約450人が参加。開会式では大会実行委員長河原長美・岡山大大学院教授が

「良好な地球環境を次世代に引き継ぐ制度として活用していこう」と呼び掛けた。初日は、産業廃棄物

### 岡山の認証登録110件 11年度末

岡山県内でエコアクションの認証登録は2011年度末現在、110件に上る。

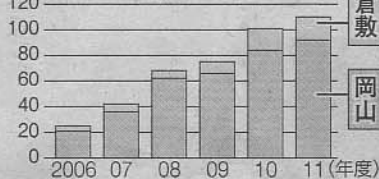
県内では05年に申請窓口となる地域事務局が岡山商工会議所（岡山市北区厚生町）と倉敷商工会議所（倉敷市白楽町）に開設され、受け付けがスタートした。

110件の内訳は岡山92件、倉敷18件。ただ、最近では取り下げる事業者も出るなど頭打

処理▽建設▽製造▽小売り・サービスの4分科会があり、認証事業者が事例発表。建設現場でコンクリートを破碎して資材として再利用する取り組みを報告した総合建設業の蜂谷工業（岡山市北区鹿田町）は「公共工事などで認証事業者への優遇制度を広げてもらいたい」と要望し

た。造園業の塚村造園土木（同市南区福成）は重機などのエコ運転による燃料費削減について紹介した。岡田光正・放送大学教授（広島大名大学教授）の講演もあった。大会は06年から開催。27日は全体研修などがある。（秋原聡）

岡山県内のエコアクション21認証登録件数の推移



ち傾向といい、倉敷は年10件の新規登録を目指しているものの、11年度は1件増にとどまっている。

岡山商工会議所によ

ると、全国では登録がないと公共工事に入札できない仕組みになっている自治体もあるが、岡山県内は加算点の付与などにとどまっている。企業からは「十分なメリットを感じられない」との声も聞かれるという。

同会議所は「全国交流研修大会を機にエコアクションの有効活用を行政にも働き掛けたい」としている。

（秋原聡）